

# 竹ノ塚教会礼拝レポート

天基2年天曆7月22日 陽曆8月21日（日）



## 朴聖熙教会長 『教育と伝道』

本日第1部は希望あふれる教育部の卒業礼拝となりました。8名の卒業生が礼拝に参加されたたくさんの食口に見守られる中、共にみ旨を歩む信仰生活の新しい出発の日となりました。BGMに合わせて卒業生が入場し、拍手で迎えられました。式の中で卒業生から霊の親へ手紙が読まれ、神様と真の父母様と霊の親との縁に導かれ、み言を学び人生の新しい出発をする貴い一日を迎えた感謝の思いが伝えられ、感動を呼びました。卒業生代表の挨拶として松井恵美子さんが、教育部での期間を通して通過してこられた心情、勝利して成長されるその心情を証してくださり、これから続く教育生に向けて、また私達食口に希望を与えてくださいました。そして、卒業生の皆さんはこれから各エリアに所属しみ旨を歩むこととなります。卒業生を迎えるエリア長の皆様から歓迎の挨拶が行われ、エリア長の挨拶と共に全食口が歓迎の拍手を送りました。

続いて朴聖熙教会長をお迎えして卒業生へのメッセージが送られました。

「これから、新しい人生の出発です。今日が終わりではなく出発の日です。神様がこの日をどれほど待っていていらっしゃったのでしょうか。真の愛を教え、真の愛を实践する教会ですから真の愛教育部でした。そしてこれからは希望あふれる教育部となりました。この世の中で神様のこと、霊界のこと、人生のことをはっきりと教えてくださる場所がどれくらいあるのでしょうか？メシヤとこの地上で出会い、正しい教育を受けたことがどれだけ貴重希望でしょうか。私達の人生はこの地上だけで終わるのではありません。それでは希望も何もありません。霊界があることをみ言によってはっきりと学びました。世の中のどんな大学の勉強よりも、人生の目的をはっきりと学んだこの教育部が素晴らしいことです。

霊の親は私と神様、真の父母様を会わせて下さった方なのです。そして真の父母様から祝福を受けて神様の子女として生まれ変わり本当の人生を希望をもって生きていくのです。何が希望かと言えば、祝福です。サタンの血統を断ち切って、神様の血統に変わるのです。これ以上の希望はないのです。これからこの希望をもって神様と真の父母様を堂々と証して実践していくのです。今日が本当の信仰の出発です。私達の目標は何かと言えば、家庭盟誓です。家庭盟誓はエキスです。この中にみ言のすべてが込められているのです。毎日家庭盟誓を唱和して目標をもって進むのです。ここに参加している皆が共にみ旨を歩む希望の出発となりますように」

第2部は讚美礼拝が行われました。

説教者：朴聖熙教会長『教育と伝道』

## み言訓読

### ① 「統一思想要綱より」 ② 「み旨の道」より

「統一教会の目標は何か？霊界にいて合格する人を作ることです。一部では希望あふれる教育部の卒業式でした。卒業とは新しい段階への出発です。竹ノ塚の竹のように節目があり一段階ずつ上がり成長します。

統一教会の教育理念、愛天愛人愛国です。愛天：神様を愛し、愛人：隣人を愛し、愛国：万物を愛する、この3つです。人間は墮落によって霊的無知に陥りました。人間には霊人体があります。死後も霊界で生き続けるのです。天国へ入るには12の真珠門を通過しなければなりません。最初に怨讐が目の前に現れるのです。その怨讐を愛してこそ門を通過するのです。怨讐を愛さない限り天国へ入れません。次にサタンが現れます。み言通り生きてきたか尋ねて来るのです。真の父母様が原理のみ言を私達に教えて下さり、どのように生きるべきかはっきりと示して下さいました。神様のことをはっきりと示して下さいました。人間は神様の子女であるということをはっきりと自覚して生きなければなりません。真の父母様が地上にいらっしゃる間に私達は祝福をいただき、正しい人生を生きることができるのです。教育とは真の教育をしなければなりません。教育とは本来親に似るように育てることです。神様に似るように教育するのです。そして伝道とは、神様を正しく伝え、救世主メシヤを正しく伝え神様と人間の親子の関係を結び、理想家庭を築き天一国を創建することです。重要なものは家庭盟誓です。

1000名礼拝勝利に向かって歩みましょう」



